



# Interactive Training in Communication-Japan



## II

Volume 42

February 2024

## 目次

## Table of Contents

今期のテーマ	1	2023-2024 Theme
ITC-J 会長メッセージ	2	ITC-J President's Message
委員会からのメッセージ	3	Messages from Committees
カOUNSL 第1回会合報告	4~7	Reports of Council Meetings
カOUNSL 会長会報告	8~9	Comments on Council President's Meeting
特集「ITCの歴史を紐解きます」シリーズII	10~11	Unraveling the History of ITC Series II
ITC-J 第42期年次大会のご案内	12	Invitation to the 42nd Annual Conference
年次大会 日程一覧表	13	Annual Conference Schedule
年次大会 プログラムのご案内	14	Program Information to Annual Conference
教育セッション一覧表	15~17	Education Sessions
晩餐会エンターテインメントのご案内	18	Information of Banquet Entertainment
年次大会 準備委員会名簿	19	Annual Conference Committee
年次大会 観光のご案内	20~21	Information for Sightseeing
年次大会 申込要領	22	Guidelines of Registration
ITC-J ウェブサイト会員ログイン方法 / 表紙について / 編集後記		How to Log in to ITC-J Website / About the Book Jacket / Message from Editor
ITC-J 宣誓 ITC-J 声明文		ITC-J Pledge & Mission Statement of ITC-J

ITC-J 第42期 テーマ  
2023 - 2024 ITC-J Theme



守る 変える そして進歩



## ITC-J 第42期 会長メッセージ



ITC-J 第42期会長  
高山 敦子

新年明けましておめでとうございます。2024年の年頭に当たり、会員の皆様に心からお祝いを申し上げます。

全国8カウンスルが各地で第1回会合を意欲的に開催されました。会合のプログラムは以前にもまして充実してきていると感じました。それぞれに個性豊かな創造性のあるプログラムが展開されていて今更ながらITC-Jのメンバーの質の高さを再認識致しました。

ITC-Jの会員は理念を綿々と守り、個人、グループが成長するために優しさのある会話力、説得力を身につけ、他者への思いやり、心配りなどを大切にしてコミュニケーションとリーダーシップのスキルを学んで参りました。今は時代の変化に沿って他組織とも交流しながら社会的にブランドとみなされるよう意識して活動する時だと思えます。後期には、スピーチコンテスト、年次大会など、好奇心を抱かせるチャンス・チェンジ・チャレンジが皆様を待っております。これらの機会での会員の皆様のさらなる活躍と協力を期待しております。

ITC-J第42期年次大会では会員一人ひとりの力が活かされるよう、役員会、委員会、準備委員会は準備に余念がありません。大会に参加することで切磋琢磨しながらたくさんの刺激を受けて各自が成長を確認することができると思います。

青く白くきらめく神戸の海を一望できる神戸ポートピアホテルでの年次大会で皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

今年一年が会員の皆様にとって、成功の年となりますように！

## 委員会からのメッセージ

### プログラム・教育委員会

委員長 大原 慶子

第42期年次大会の準備が大会テーマ「繋 つなぐ」の下、着々と進んでおります。全体講演は病理学の権威でいらっしゃる仲野徹先生が「できるだけ病気をしない暮らし」についてわかりやすく、楽しく講演していただきます。私たちが生きていく上でのヒントを必ずや頂けることと思います。また、5部門の教育セッションも、人生のヒントに溢れています。参加いたしましょう。皆さんと共に学びましょう。たくさん学び、楽しく笑い、友と語り合いましょう。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

### 会員委員会

委員長 田中 英子

会員委員会は「会員の維持・増強」を今期目標に掲げ、一会員が一人以上のゲストを迎えITC-J活動を知っていただく「Welcomeキャンペーン」を推奨しています。皆様から沢山の素敵なキャッチフレーズをお寄せいただきました。このキャッチフレーズを活用していただき、クラブ例会やカウンスル会合にゲストを招いて是非、新入会員獲得に繋げてください。「あなたのゲストが未来の会員」「伝えよう 歓迎しよう 明日の会員」「とにかく誘ってみましょう」

第42期も20年・30年・40年・50年継続会員と「会員数30名以上達成のクラブ」、「会員数30名以上維持クラブ」、「新入会員最多クラブ」、「新入会員最多紹介者」を表彰します。表彰式は年次大会の晩餐会で行います。

### スピーチコンテスト委員会

委員長 伊藤 容子

ITC-J第42期「スピーチコンテストの規則と任務」及び「関係書類一式」をウェブサイトに掲載しています。各クラブ、各カウンスルのスピーチコンテストはこれに則り行ってください。

各カウンスルスピーチコンテストは、今期は3月26日～4月26日の間に行われ、その代表者によるITC-Jのコンテストは7月15日に英語の部、翌16日に日本語の部を行います。每期、スピーチコンテストでは、各スピーカーそれぞれ8分弱のスピーチの世界に引きこまれ、たくさんの感動を生み、スピーカーの人数分の世界が広がり、充実した時間を共有できます。

スピーチコンテスト委員会ではスピーカーの皆様がお力を存分に発揮され、コンテストが素晴らしいものになります様、お役担当の皆様にもご協力いただき万全の準備を進めてまいります。会員の皆様、スピーカーへの温かい応援をお待ちしています。

# カウンスル第1回会合報告

## Council No.1

第一副会長 神谷 啓子

カウンスルNo.1の第1回会合は無事に終了しましたが、ビジネスに多少の戸惑いもあり問題点が多く出され真剣に考える機会を得ました。プログラム担当として、最初から温めていました能の世界に皆様をいざなおうと考えていましたので能楽師、山田伊純様にお願いをしました。山田伊純様は金剛流能楽師、人間国宝の金剛永謹様の直門として今日に至ります。



最初に講演をして頂きその内容に沿った実演になりました。

能面も持参下さって橋掛かりから出る時、終了して戻られる時の面(おもて)の顔の表情の違い等の講演は会員一同、これからの観賞に新たな知識で臨めることが出来ると思いました。



絶対見る事の出来ない着装から拝見する事も出来、能の実演もあり、カウンスル会合にふさわしい内容でした。

## Council No.2

第一副会長 井上 明子

第43期カウンスルNo.2第1回会合は、2023年11月13日(月)11時から神戸ポートピアホテルで行われました。

今期カウンスルNo.2は、会長テーマ『カウンスルNo.2このままでいいですか? ~ひとりで思う、ふたりで語る、みんなで考える~』のもと、会員の力を集結し、大きな一歩を踏み出そうと、1部はテーブルディスカッション、2部はグループリサーチというプログラムで行いました。



二重にお役を持つ方もあり、会員それぞれが分担して準備をし、本番を迎えました。

1部ではテーマ①カウンスルNo.2このままでいいですか ②カウンスルに求めるもの ③自由テーマということで、活発な意見交換をし、リーダーがまとめて発表しました。「時間をもっと欲しかった。これからは繋がる」などの感想が出ました。2部は「危機について調べよう」をテーマにAグループが「超高齢化社会の危機」、Bグループが「地球の危機(気候変動について)」をリサーチし報告しました。どちらのグループも会員の身に迫る切実な問題をとりあげており、パワーポイントを使っての説明もあり、会場が一つになって発表に聞き入り、共有しました。「よく準備された内容の濃い会合でした。参加者全員が関心のあるテーマでしたので、会場全体が一つになりましたね。」という評価をいただきました。

## Council No.3

第一副会長 森岡 令子



カウンスルNo.3 第1回会合では、「AI時代を楽しもう」と題し各クラブが自由な内容・形で発表をするプログラムにしました。事前にNo.3所属8クラブに発表を依頼していたので各クラブがそれぞれ話し合い個性あふれた発表で聴衆が楽しみながら熱心に見聞きし、AIについて身近になり色々な側面からの学びがありました。

またその後の体をほぐす体操は「アンチエイジングストレッチ」として、参加者全員でタオルを使って音楽に合わせてストレッチをして楽しく終わりました。

今期は「ホスピタリティを見直そう」という事でゲストをお迎えするためのエスコート担当クラブを作りました。さらに教育でも「ホスピタリティについて」とし、会員全員で勉強しました。



## Council No.4

第一副会長 島村 忍

カウンスルNo.4 第一回会合は2023年11月13日(月)ホテルグランヴィア岡山に於いて出席者114名(会員67名、講師他2名、ゲスト36名、他カウンスル8名)が集い開催されました。

プログラムは「ゼロからの俳句」と「jazz演奏」です。

「俳句は自転車のようなもの。初めはちょっと怖いかもしれませんが補助輪をつければ大抵の人が乗れるようになります。」講師の先生はこうおっしゃって先生が私たちの補助輪になって、俳句への第一歩をお手伝いしてくださいました。



最後に各テーブル代表の詠んだ俳句の講評をいただき、参加者全員が自転車に乗れるようになったのではないのでしょうか？

ご参加くださった皆様に満足していただけたらとても嬉しいです。



# カウンスル第1回会合報告

## Council No. 5

第一副会長 宮武 和美

講演「だれもがキラボシ 笑顔あふれるテーマパークの秘密」

今期は「ゆったりとした時間を持つ」と、準備には無駄なことを省き、中休みを十分に取れる様に企画しました。(株)アワーズ、アドベンチャーワールドの社長山本雅史様に講演をお願いし、No.5初めてのグッズ販売をしました。若さ溢れる理念講演、企業経営に対する熱意、社員が一体にならないといけない。一人ひとりがSmileを意識し常にSmileであることを目指す。多くの社員を抱えコミュニケーションを全社員と行なうなど、老脳に刺激を受けました。



私達は、会員減少という問題で頭が痛いですが、チームを組み、力合わせて、楽しく輝き学んでもらう為に知恵を絞って頑張らねば!若きリーダーからパワーと笑顔を頂きました。童心に戻って買い物を楽しみ、温かい空気感が漂うよい会合となりました。

## Council No. 6

会長 西田 富美子



カウンスルNo.6第1回会合は2023年11月21日(火)開催。プログラム第1部、Aグループ(12名)国指定重要文化財小川家住宅見学、小川様によるわかりやすい解説と保存されている努力に感銘、京都の奥深さを知ったとの感想、好評でした。Bグループ(25名)サポートビューローよりの講師による「エゴグラム」交流分析による性格診断、新たに自分自身を知ることが出来たと好評でした。第2部、円滑なコミュニケーションの

言葉“ありがとう”の講演。“ありがとう”の言葉の持つ力を認識、聞き手は今後の生活に“ありがとう”を实践しようとの気持ちになったとの声、感動したとの声、好評でした。最後に中国のお琴の演奏も好評。カウンスルNo.6は温かいと感想を頂き嬉しく思いました。

会合中にゲストが入会を決意して下さり、入会されました。カウンスルNo.6一同大きな感謝です。



## Council No. 7

第二副会長 楠 智加子



2023年11月16日(木)第36期カウンスルNo.7第1回会合をホテルニューオータニ鳥取で開催しました。

第1回会合テーマ「今を識る」として、プログラムを「生成AIチャットGPTの正しい活用法」と題して新日本海新聞社の徳田真吾様を講師にお招きし、生成AIの現状や課題、活用例のほか、情報に向き合う心構えなどを学びました。

講演では、ご自身のコラムや新聞記事を取り上げられて「AIはもっともらしい回答をするが、正しいとは限らない。鵜呑みにせず、自分で考え、判断することが大切である。」と活用する際の注意点を指摘されました。そして、「AIを道具として賢く活用してほしい」と話され、ワークショップでは実際にAIに問いかけ、チャットGPTの可能性や限界について学びました。



## Council No. 8

第一副会長 畑山 はるみ

カウンスルNo.8第1回会合は11月6日第34期会長テーマ「まさか!を楽しもう」の基、東京圏を離れ、会長の地元である甲府市の山梨県立図書館イベントスペース西館とオンライン(Zoom)でのハイブリッド形式で対面41名オンライン24名の出席者総数65名で開催されました。プログラムは井上康明先生の「まさか」を活かそう俳句の世界と題し第1部では講師の「俳句とは」のお話、第2部では全員参加のグループワーク「代表句の選出」、第3部で講師の講評の3部構成で行われました。前もって出された課題「木の実」を詠んだ俳句を各自持ち寄り会場6つオンライン5つのグループに分かれて話し合い代表句を選んで提示し、講師から講評をいただきました。

No.8も現在高齢化、小人数化に直面しており、今回ハイブリッド形式での会合が実施できた事は今後も一つの選択肢になると感じております。





## ITC-J カウンシルZoom会長会に参加して



2023.12.6

### カウンシルNo.1

会長 讃井 良子

ITC-J役員と各カウンシル会長のフルメンバー（16名）で12月6日20時からZoomでの会長会が開催されました。第1回会合を終えての感想や問題点などを報告しました。少人数で運営する難しさ、高齢化、会場費の値上げ等の課題が発表されました。会合前に増員と親睦を兼ねて「あらたな集い」を計画、花や菓子を控えて経費のスリム化に取り組む姿も興味深く参考になりました。ロースターの件、評価など積極的な意見交換が出来て実りある会長会になりました。（最後は皆で笑顔のスクリーンショットをパチリ!）

### カウンシルNo.2

会長 鶴山 紀子

全カウンシルが第1回会合を終えて開催された会長会、お話が進む中で、それぞれのカウンシルが共通の問題（会員の減少と高齢化）を抱え、それぞれに工夫を重ねておられること、そしてそれぞれのカウンシル特有の問題がある事がわかり、楽しさを共にし、悩みを聞き合う会長会であってほしいと思いました。以前、高山敦子ITC-J会長が仰った「人数よりパワー」という言葉を思い出し、減少傾向にある会員の負担を減らすためにも「小さな変化」に力を注ぎ、心新たにカウンシル運営に取り組んでいきたいと思いました。

### カウンシルNo.3

会長 小松 利香子

ITC-J8カウンシルの会長のZoom会議は初めての経験でしたが、予想以上に心地よいものでした。各会長との距離感が親密で、アットホームな雰囲気が漂っていました。Zoomを通じて交わされる言葉や表情から、それぞれのカウンシルの個性やビジョンを感じ取ることができ、これが初めての会長会だとは思えないほどでした。各カウンシル第1回会合が済んでいたのでカウンシルの活動や目標についての熱い議論もあり、それぞれカウンシルの特徴や取り組みや問題点、強みがよりクリアになりました。新しい形のコミュニケーションを楽しむ中で、これからの活動に向けての期待感が広がる初めてのZoom会議でした。

### カウンシルNo.4

会長 小倉 千真理

CMTで初めてお会いした時にはどなたも存じあげなかったのですが、今回は沢山の方にお会いしたので顔が良くわかりました。会長報告でどのカウンシルも第一回会合に真摯に取り組んでいらっしやった様子が伝わってきました。ビックリしたのはどのカウンシルも会合を評価する方がいらっしやることでした。カウンシルNo.4は今まで公式訪問者以外に評価をお願いすることは無かったのでクラブ会長会を開いてその点も話し合うつもりです。

## カウンスル No.5

会長 遠藤 美与子

高山会長の和やかな進行で始まった会長会は、事前報告した内容に追加の形で、各カウンスルが詳しく現状報告出来てよかった。全カウンスル共通の問題点は会員の減少と資金の減少。組織運営にとってマネジメントは重要事項であり、カウンスル毎の課題や悩み、会費や個人情報関係など沢山の問題提起に活発な意見がでてお互い情報交換する事ができた。No.5はカウンスルのスリム化を実行していると報告した。少人数カウンスルや超少人数クラブに対してITC-Jからのサポートや提案が必要ではないかと感じた。

## カウンスル No.6

会長 西田 富美子

12月6日、Zoomによるカウンスル会長会が開催されました。アジェンダを受信、心を引き締めました。各カウンスル会長の自己紹介及びカウンスルの状況報告がされ、それぞれのカウンスルの独自性があらわれていたと思います。教育研修会、CMT、高校生スピーチコンテスト、会則修正、対面とZoomによるハイブリッド会合と、課題を確実に実践されている各カウンスルの努力を伺い、No.6の課題が鮮明になりました。「カウンスル構成のクラブ数」「本当のクラブの自立とは」を質問しました。楽しいZoomの会長会でした。

## カウンスル No.7

会長 森 俊子

各カウンスル第1回会合を開催したこの時期の会長会はとても有意義であったと思う。会合においての反省点や上手くできた点を聞くことができ、次回会合への参考になった。意見を聞いていただき、また、聞くことができ、カウンスル運営の難しさが理解できた。我がカウンスルNo.7で当たり前のことが、全てではないこともよくわかり、各カウンスルが会員数の減少という大きな課題を抱えていることがわかり解決しなければと思う。

## カウンスル No.8

会長 烏谷 まゆみ

ITC-J役員、カウンスル全会長が一堂に会する会長会は、緊張もありましたが実り多い機会でした。どのカウンスルも高齢化、少人数化する中で、カウンスル会合を3回、2回でも別建ての集い、勉強会を開催しているカウンスルもあり、参考になりました。また、会合の評価者が殆どカウンスル毎に違うのも興味深いことでした。Zoomではありましたが、他カウンスルの会長と親しくなれた気がしました。



## 特集 ITCの歴史を紐解きます SeriesII 高山 敦子

私はいつもITC-Jの組織の挨拶文の閉めの言葉に「生涯学習号を走らせます。皆様のご乗車をお待ちしております。」と記載しています。それには訳があるのです。ITC第31期マーガレット・サザランド元国際会長のITCテーマからヒントを得た言葉を参考にしているのです。

彼女の2009～2011年のテーマは「Coach for Success」成功へのコーチです。テーマで行動を起こすように呼び掛けたいという思いが強かったようです。スポーツは世界中で行われており、スポーツのチームや個人には常にコーチが付いていることに思いつき、ITCのテーマにもコーチという言葉を使いたかったそうです。コーチという英単語の語源は輸送手段・乗り物の(コーチ)です。彼女はITCがPOWERtalk International というブランドを通してメンバーがより良いコミュニケーターになれば、生活・仕事において更なる成功を収めることができる、つまりSuccess(成功)につながると思うと話してくれました。そこで私も勉強する手段でもあるCoach(乗り物)を勉強する場所として使うようになりました。

生涯学習号は次の駅へ走っていきます。

初期のITCの開拓者たちは、文化を結び、価値観を理解し、多様性を受け入れ、平和と真の知識が得られると理解してきました。私たちが世界中のITCの組織を繋ぎ、地球規模の絆をつくりあげようとしていたのです。世界もITCも大きな変化の中にありました。

でもITCは繁栄し続けるだろうと誰もが信じていました。

2005年ごろ親しくなったマーガレット・サザランドさんはその頃第29期国際会長テリー・バクスター(オーストラリア人)の懐刀と言われておりました。彼女から日本人会員も国際に出るべきだと説得されました。彼女からの推薦で私は2011年に行われたアメリカのインディアナポリス世界大会でコスモポリタンスピーチコンテスト委員長のお役をさせていただき、2013年のハワイでの世界大会でスピーチコンテスト委員長をお引き受けいたしました。経験不足の私のアシスタントに有名なジーン・ターナー元国際会長を付けてくださいました。そのおかげでハワイ大会での審査員とプログラムリーダーはすべてジーン・ターナーが依頼係を引き受けてくださり安心感がありました。



大会出席者



JAPAN NIGHT (エンターテインメント)



豊川会員スピーチ披露

私が参加した世界大会で忘れられないのがハワイ大会です。日本人会員が最も活躍した会合です。2013年7月13日～17日までハワイホノルルのヒルトンビレッジで第32期キャロル・プレイス国際会長の下300名近い出席者で行われました。日本からは78名が参加しました。アメリカに次いで2番目に多い参加者でした。まずライティングコンテストのノンフィクション部門でイースト神戸クラブの藤木桂子会員が英語圏の人々が多い中で第1位を取りました。日本リージョンから1位が出たことは快挙で、私たち日本リージョンは大いに歓喜に沸きました。ITC資格認証委員の西宮クラブの土川邦子会員が作成した英語版(日本語付き)のAPノートが画面で紹介されました。また私がスピーチコンテスト委員長だったのでテラー、タイマー、ページなど日本リージョンの会員がお役を受けてくれました。夜にはコンテスト晩餐会が行われスピーチコンテスト授与式が行われました。プログラムはJAPAN NIGHT。小菅あけみリージョン会長がプログラムリーダーでした。日本リージョンのスピーチコンテストで2012年に優勝された城北クラブの豊川三千代会員が堂々と優勝スピーチを日本語で披露されました。会員は英語版を事前に配信されていました。エンターテインメントではしらさぎクラブの江原恭子会員が司会をされ、ポーランドで勉強中の日本人の若いピアニストの演奏や淡路クラブの岡田恭子会員のソプラノ独唱、和服での横山末子六甲クラブ会員と奥澤節子宝塚クラブ会員の踊りがあり、最後は日本の歌(ふるさと)の合唱で盛り上がりました。思い起こせば日本人会員の活躍は1994年アメリカのピッツバーグのヒルトンホテルで行われた第53回ITC世界大会では東京クラブの小林令元リージョン会長が世界の会員代表として挨拶された功績があります。ITCの歴史を紐解くと、特筆するに値する事柄が色々出てきました。日本リージョン会員も国際で活躍してきたことをお分かりください。

次の第3号の会報誌では2017年シアトルで行われた最後の世界大会の報告をいたします。今期シリーズで会報誌を通してあなたの知らないITCの世界へ誘います。あなたのITC-Jにおける学びは、すべてあなたの知の力となるものです。

今期テーマ「守る 変える そして進歩」に沿ってたゆみない学びの道を歩み続けて参りましょう。誇り高き過去から 品格ある未来へ



国際役員・常任委員長



乙野会員の落語のワークショップ

# ITC-J 第42期 年次大会のご案内

大会テーマ

「**繋** つなぐ」

開催日：2024年7月15日(月)・16日(火)

会 場：神戸ポートピアホテル

〒650-0046

神戸市中央区港島中町6丁目10-1

Tel 078-302-1111(代表)



大会準備委員長

後藤 英子 (No.3 姫路)

大会準備副委員長

藤川ひとみ (No.3 淡路)

西島 敏子 (No.3 淡路)

ITC-J第42期年次大会は、異国情緒あふれるハイセンスな街、神戸で開催いたします。大会テーマは「繋 つなぐ」です。年次大会は8つのカウンスルを繋ぎます。56のクラブを繋ぎます。662人の会員を繋ぎます。会員の心と心を繋ぎます。一年に一度、全国のITC-J会員が一堂に会し、共に学び、交流を深める、かけがえのない機会です。また一年間学んできたことの集大成でもあります。素晴らしい講演やプログラム、晩餐会でのエンターテインメント等、どうぞ楽しみにしてください。

神戸は日本のジャズ発祥の地であり、今年で100周年を迎えています。そこで、大会前日の7月14日は前夜祭として神戸の老舗ライブハウス「ソネ」で絶品のお料理と共にジャズの生演奏を聴いていただく「ジャズナイト」を企画しております。おしゃれな街、神戸の夜を存分に楽しんでいただきたいと思います。

また大会後はパールブリッジの愛称で呼ばれている明石海峡大橋を渡って淡路島へのご案内いたします。淡路島は魅力あふれる素晴らしい地です。豊かな地元の食材を使ったお料理、温泉、海や山の絶景で心と体を癒していただきたいと思います。

大会準備委員会は皆様に喜んでいただける大会、皆様に笑顔になっていただける大会を目指して、心を合わせて準備を進めております。皆様のご出席を心よりお待ちしております。

# ITC-J 第42期 年次大会 日程一覧表

The 42nd ITC-J Annual Conference Schedule at a Glance

## 大会1日目 7月15日(月) Day 1 July 15th (Mon.)

8:30～ 9:50	会員登録受付	Registration for Members
8:30～ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
9:00～ 9:40	派遣員説明会	Briefing for Delegates
10:00	開会式	Opening Ceremony
10:50～11:55	議事会議・選挙	Business Session・Election
12:00～13:00	昼食	Lunch
12:10～13:00	登録受付(会員・ゲスト)	Registration for Members & Guests
13:15～14:45	講演	Plenary Lecture
15:10～16:40	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
17:30～17:50	晩餐会受付	Registration for Banquet
18:00	晩餐会開会	Opening
	表彰式	Commendation Ceremony
	役員就任式	Installation
	エンターテインメント	Entertainment
21:00	閉会	Adjournment

## 大会2日目 7月16日(火) Day 2 July 16th (Tue.)

8:30～ 8:50	会員登録受付	Registration for Members
8:30～ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
9:00～10:05	議事会議	Business Session
10:20～11:50	教育セッション 5部門	Education Session 5 Workshops
12:00～12:50	昼食	Lunch
13:00～15:00	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:05	閉会式	Closing Ceremony
	次回大会案内	Invitation to Next Conference
15:20	閉会	Adjournment
15:30～16:40	CMT	Council Management Training

# ITC-J 第42期 年次大会 プログラムのご案内



## 講演

2024年7月15日(月) 13:15~14:45

講師: 仲野 徹 氏

演題: できるだけ病気をしない暮らし  
-こわいもの知らずの病理学講義-

誰も病気になりたくはないけれど、残念ながら病気に罹らない人生というのはありません。なぜ病気になるのか、その理(ことわり)の学問が「病理学」です。昔は顕微鏡で細胞や組織を見るしかありませんでしたが、いまでは分子レベルでいろいろなことがわかってきています。こう書くと難しそうに聞こえるかもしれませんが、病気になる「原理」というのはさほど難しいものではありませんし、知っておいて決して損はありません。それどころか、知識がなければ、お医者さんの説明がよく理解できない可能性すらあります。がんや貧血、脳卒中など、よくある病気について、楽しくわかりやすくお話いたします。

みなさんの「医学リテラシー」があがりますように!

### プロフィール

1957年、大阪市生まれ。1981年大阪大学医学部医学科卒業、内科医として3年間勤務の後、基礎医学研究の道に進む。大阪大学医学部助手、ヨーロッパ分子生物学研究所研究員、京都大学医学部講師(本庶佑研究室)などを経て、1995年に大阪大学微生物病研究所教授。2004年に大阪大学医学部病理学の教授に異動し、2022年に定年退職。著書に『こわいもの知らずの病理学講義』、『(あまり)病気をしない暮らし』(晶文社)、『そろそろ大阪の話をしよう』、『笑う門には病なし!』(ミシマ社)など。

趣味は義太夫語り、僻地旅行、伝記読み。2020年から2年間、読売新聞の読書委員を努めるなど、書評家としても活動している。

# 教育セッション一覧

## A 日本のものづくりをきわめた快男児 ～海運史に輝く男の航跡を追って～



大阪芸術大学(大学院)文芸学科教授  
大阪市博物館機構理事  
レンゴー株式会社社外取締役  
阪急文化財団理事・名誉館長

玉岡 かおる 氏

### プロフィール

作家。神戸女学院大学卒業。平成元年、神戸文学賞受賞作『夢食い魚のブルー・グッドバイ』(新潮社)で文壇デビュー。著書多数の中、『お家さん』(新潮社)で第25回織田作之助賞受賞。『帆神～北前船を走らせた男・工楽松右衛門』(新潮社)で第41回新田次郎文学賞、第15回舟橋聖一賞をW受賞。近著は『われ去りしとも美は朽ちず』(潮出版)『春いちばん』(家の光協会)があり、最新刊は、平家とともに壇ノ浦の海に沈んだ三種ノ神器の剣のゆくえをたどる歴史ロマン『さまよえる神剣』(新潮社)。

他に、観世流シテ方片山九郎右衛門氏のために新作能『媽祖』を書き下ろした他、宝塚歌劇の専門誌『歌劇』に公演評を連載するなど演劇の分野にも造詣が深い。

### 講演内容

四方を海で囲まれた日本では、人や文化の交流はもちろん物流も、船を運搬手段として歴史を重ねてきました。しかし江戸時代、鎖国によって海外との交流を閉ざされ、造船や操船といった技術はすべての発展を止められた時代を迎えます。それでも、海の大動脈であった廻船を、国が課した制約の中で最大限に革新させ発展させた人々はいました。工楽松右衛門、高田屋嘉兵衛といった、海の豪商にのしあがった男たちです。知られざる先人の活躍に光をあて、日本人のものづくりの気質とは何か、また、危険な荒波を乗り越え経済に大きな影響をもたらした先取の精神とは何か、海から遠ざかってしまった現代日本人が見失った潜在的な能力と誇りとを、ともにみつめなおしてみましょう。

## B 人間の歯の咬み合わせの不思議さ？



歯学博士  
たけざわ歯科医院院長  
(厚生労働省 歯科医師認定研修施設)  
Dentistry, Quo Vadis代表  
京都市中京歯科医師会副会長  
京都大学医学部付属病院  
歯科臨床研修指導医

竹澤 保政 氏

### プロフィール

1959年京都市生まれ。1985年岐阜歯科大学(現、朝日大学歯学部)卒業、同大学院歯科理工学講座にて、歯・骨の基盤であるリン酸カルシウムの石灰化研究をして1989年歯学博士を取得。その後、歯周病臨床研究を、そして、神奈川歯科大学矯正歯科学講座で「矯正」、「咬合」について勉強を重ねる。1999年、京都にて「たけざわ歯科医院」を開業し、現在に至る。

2002年に「臨床と基礎との融合」を目指した勉強会「Dentistry, Quo Vadis?」が誕生し、20年以上継続、現在、代表を務める。診療におけるベースに基礎知識がないと治療は成功しないと考える。著書に「歯科材料の基礎」、「新骨の科学」「こんな子が来たらどうするの？顎骨成長は？」など。

### 講演内容

むし歯、歯周病はご存じですね。歯磨きがうまくできれば、う蝕、歯周病は抑えられます。では、お口の中の歯の咬み合わせはどうでしょうか。例えば、サメの咬み合わせが左右異なったりすることはありますか？サメの歯は一生何度も生え変わり続けますので咬み合わせが狂うことはまずありません。人間の歯は、乳歯から永久歯に生え変わり、一生存在しないといけません。ただし、人間はサメなどとは全く異なり、歯の萌出と顎関節の動きによって咬み合わせが人それぞれ異なってきます。ゆえに、歯が痛い、顎関節が痛い、固いものが咬みにくい、さらには脳に影響するという方もみえます。現在の人間の咬み合わせについてお話しさせていただきます。

# 教育セッション一覽

## C 音楽療法の視点から音楽を知る



名古屋芸術大学 芸術学部芸術学科音楽領域  
音楽ケアデザインコース准教授  
(一社)日本音楽療法学会認定音楽療法士  
岐阜県音楽療法士  
リハビリテーション療法学博士

森川 泉氏

### プロフィール

子ども、成人、精神科領域、高齢者との音楽療法を通して、音楽と人の行動に興味を持ち、現在、音楽療法が人に与える影響や効果について研究中である。また、名古屋芸術大学にて音楽療法士養成教育に携わっている。名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻博士後期課程修了。

### 講演内容

音楽は太古の昔から人とともに存在します。我々の身近にあるこの音楽の働きを追求し、人のQOL向上のために活用するのが音楽療法です。日本における音楽療法は、1967年英国の音楽療法士の来日によって普及し始め、現在では疾患や障がいをお持ちの多くの方々を対象に行われております。音楽療法といえますと、「癒し」を思い浮かべる方もいらっしゃると思いますが、音楽の働きは多様であり、実際の音楽療法では、発達支援、機能維持改善等の目的に合わせ、意図的・計画的に音楽が用いられております。今回は音楽療法で行われる歌や楽器などを体験していただきながら、音楽の人への働きについて概説していきたいと思っております。

## D 言葉の彩り、筆の詩 — 詩と絵のワークショップ



カウンスルNo.3 第42期 会長  
クリスタル神戸クラブ会員

小松 利香子氏

### プロフィール

多様性ということを経験中に世界中から集まってきている人々と共に生活したことで、肌で感じました。そこから多様な世界、いろいろな人々、様々な考え方や憧れ、それぞれの希望や夢などの違いを感じた、そのユニークな経験から生きる意味の探求、そして多様性を感じるがままに表現したいと思っています。姫路市在住。甲南大学文学部英文学卒業後、英会話教室を始める。イギリス・バーミンガムのセリー・オーク・カレッジ(現バーミンガム大学)に留学。親子のための雑誌にエッセイ連載。個別指導塾開設。幼児教育開設。2022年京都芸術大学卒業。

【入選・受賞】	2018年 国文学賞	受賞	詩「朝の音」
	2019年 第66回明石市美術展	入選	「故国の桜」
	2021年 加東市公衆美術展	入選	「晩秋の道」
	2021年 ~朝来からの風~朝展2021	入選	「いっくん」
	2021年 第33回しんわ美術展	入選	「未来」
	2022年 ~朝来からの風~朝展2022	入選	「未来を見つめて」
	2022年 第3回丹波アートコンペティション	入選	「私のお気に入り」
	2023年 二科展 第107回絵画部	入賞	

### 講演内容

詩と絵のワークショップへようこそ!言葉と色、感覚が交わり、新しい世界が広がります。心を込めた詩の表現と、筆を通した絵画のアート。想像力を解放し、創造の扉を開く贅沢なひと時。一緒に編み出す、心揺さぶる詩と美しい絵画の世界へ、ぜひご参加ください。新しい表現の冒険が、ここから始まります。皆さんとアート作品の制作と心を解き放つ言葉の紡ぎ方などを小松利香子流のアートを体験していただき、今日の記念に皆さんそれぞれのアート作品を持って帰っていただきます。

# 教育セッション一覧

## E Planning a Workshop



Facilitator :  
Ms. Margaret Sutherland  
(元ITC国際会長)

### プロフィール

ビジネス経歴：35年間の広告業  
Speakup, Coaching Communication skills  
トレーナー  
ITC歴：元ITC 国際会長(2009-11)  
現在 Cyber Club , Waverley Communicators  
(zoom), Hobart Communicators 会員



Program Leader :  
Ms. Kazuyo Sugitani  
(イースト神戸クラブ、城北クラブ会員)

### プロフィール

ITC歴：37年、元国際メンタリング委員長、  
現在イースト神戸第二副会長、城北クラブ会計、  
カウンスルNo.2 スピーチコンテスト委員長、  
Rovers (イギリス), Emerald City Connectors  
(元ITC Seattle) 会員。

### 講演内容

昨年同様のHybrid形式(対面とZoom両方参加型)でワークショップを行います。昨年は初めての試みで計8か国の国々のメンバーが参加し、将来の希望として、年4回、2025年にはできればハワイで対面での開催を期待することで意見が一致いたしました。その後この会の名称を「Global Communicators」と決定し、年4回開催をスタートしています。今回のワークショップではグループに分かれて当日与えられたトピックをテーマにしたワークショップを計画し、その後、各グループの代表者が計画したワークショップの概要を発表するという、基本的な Workshop plan and presenting の技術向上の訓練をカバーいたします。

English workshop is hybrid of in person and online the same as last year. Currently active former ITC members from 8 different countries gathered last summer in Tokyo in person and online. We, then, decided to continue the same workshop in the future for spreading global communications. We also discussed that we would hopefully have an in person global meeting in Hawaii in 2025.

The group has been named “Global Communicators” and we’ve already had 2 zoom meetings out of 4 meetings a year as planned.

We plan to have a workshop “Planning a Workshop” with a topic provided on the date. We’ll plan a workshop and report how to do a workshop from each group.

The program will cover a training of improving basic skills of workshop plan and presenting.

毎年、会報誌第2号に掲載されている「年次大会のご案内」のページを開くとわくわくいたします。

二日間のみっちり詰まったスケジュール、講演、教育セッション、スピーチコンテスト、就任式、晩餐会、エンターテインメント、観光等全てが「一期一会」の出会いであり、ダイナミックな学びです。久しぶりに会う友とおしゃべりし、楽しい時間を過ごしましょう。心も頭もおなかも充実する年次大会で、皆さまとお目にかかることを楽しみにしています。

ITC-Jプログラム・教育委員会

## 晩餐会エンターテインメントのご案内

# クラリネットとピアノ ～癒しの音楽メドレー～

## *Clarinet & Piano Soothing Music Medley*

### 上田 浩子 /クラリネット *Clarinet*

神戸市出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、大阪音楽大学卒業。同大学教育助手を務めた後、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。第14回宝塚ベガ音楽コンクール第2位受賞。現在、大阪音楽大学特任准教授、神戸女学院大学、神戸山手女子高校音楽科、各非常勤講師。



### 添田 ゆみ /ピアノ *Piano*

神戸市出身。神戸女学院大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。同大学音楽専攻科(ピアノ)修了。神戸女学院の奨学金を得て渡英、英国王立音楽大学に留学。学内にてConcert TrialやKendal Taylor Beethoven PRIZEに入賞。現在、甲南女子大学、武庫川女子大学非常勤講師。

# 年次大会 準備委員会名簿

大会準備委員長 後藤 英子 (3姫路)  
大会準備副委員長 藤川ひとみ 西畠 敏子 (3淡路)

委員会	委員長	委員
大会会計	加茂巳都里 (3淡路)	岡田 恭子 (3淡路) 清木なぎ子 (3淡路)
登 録	赤松奈緒子 (3芦屋・川西)	南野 利江 (2御影)
食 事	田中 基子 (3ポート神戸)	濱田 寛子 (1 栄) 山口 公子 (3芦屋) 竹内 邦子 (3姫路) 上西 弥生 (3姫路) 釜田 睦子 (3しらさぎ) 田中 和美 (5大阪)
宿 泊	伊山 泉 (3淡路)	深澤佳代子 (2神戸)
会場・備品	國澤真紀子 (3淡路)	酢谷 道子 (2甲南) 高井 和代 (2甲南) 岡田 京子 (2三田) 大西奈香子 (2三田) 園井万起子 (3クリスタル神戸)
デコレーション	玉田知雅子 (3しらさぎ・クリスタル神戸)	安養寺信子 (3姫路) 山崎 直美 (3しらさぎ・クリスタル神戸) 稲室 恵里 (5眉山) 熊谷 和代 (5眉山) 齋藤ひとみ (5眉山)
キット・名札・リボン	井本 恵子 (3淡路)	朝田美恵子 (2阪神) 武本夕香子 (2阪神) 生田 政美 (3淡路) 杉本 隆人 (3クリスタル神戸) 野口美智枝 (7倉吉) 柳田美奈子 (7米子マNDER)
儀 典	代田有祐美 (5南大阪)	大和喜代美 (3西宮) 宮武 和美 (5千里) 中村 朱李 (5千里) 柴田 裕美 (5千里) 谷間のり子 (5千里) 平田 真弓 (5眉山)
VIP 接待	横山 末子 (2六甲・3クリスタル神戸)	西阪 宣枝 (2京都) 奥澤 節子 (3クリスタル神戸・川西)
インフォメーション	山本智恵子 (3姫路)	大田 紀子 (4バイリンガル西条) 高橋 葵 (4バイリンガル西条) 宮崎 浩史 (5北大阪)
観光・広報	佃 眞夕美 (3しらさぎ)	喜田 秀美 (3淡路) 大歳 晴美 (3淡路) 山中 敬子 (3淡路)
ペ ー ジ	立花 典子 (3しらさぎ・クリスタル神戸)	津田 由貴 (3西宮) 白井 正子 (3しらさぎ) 森岡 令子 (3ポート神戸・クリスタル神戸) 本田 光代 (5大阪) 野村 翠子 (5大阪) 則武 紀子 (5大阪) 木下美智子 (5豊中) 長谷川充子 (5堺東)
受 付	萩原 貴子 (3芦屋)	向井 節子 (1飛騨高山) 中谷真佐子 (1飛騨高山) 西阪 宣枝 (2京都) 赤松奈緒子 (3芦屋・川西) 山中 恵枝 (3芦屋) 村上 洋子 (4ひろしま) 中井 弘子 (5城北・6平安) 播磨 篤子 (7鳥取) 清水 享子 (8葦崎)
エンターテインメント	芳岡 淳子 (3西宮)	大西 由美 (3クリスタル神戸)

# 7月14日(日) 前夜祭のご案内 (定員40名)

## Jazz night in Kobe SONE

ジャズ発祥の地、神戸にて1969年に誕生したJazz Live&Restaurant SONE神戸を代表する老舗ライブハウス「ソネ」で神戸の夜には欠かせないjazzの生演奏を絶品のお料理と共にお楽しみください。

- 17:00 神戸ポートピアホテル出発(15分前までにロビーに集合)
- 18:50 ジャズライブ(ステージ)
- 21:30 ポートピアホテル着

参加費(お一人様) 11,000円 (ディナー、ワンドリンク、交通費を含む)



# 7月16日(火)~17日(水)

## 淡路島観光のご案内

### 日本遺産 国生みの島 淡路島へ

1泊2日のバスツアー



プランA (最少催行人員50名)

## 淡路人形座と いざなぎじんぐう 伊弉諾神宮コース

日本のはじまりである淡路島の歴史と文化、そして自然を巡る1泊2日のバスツアーです。

日本で最初に生まれた特別な島・淡路島。国生み神話ゆかりの淡路人形浄瑠璃はおよそ500年の歴史を持つ国指定の重要無形民俗文化財です。ミュッシュラン・グリーンガイド兵庫において二つ星にも選ばれています。伊弉諾神宮は日本最古の神社で国生み神話ゆかりの地、淡路島最強パワースポットです。

- 16日 17:00 神戸ポートピアホテル出発 淡路島へ  
宿泊/淡路島 うずしお温泉 うめ丸
- 17日 9:00 うめ丸出発
- 9:30 淡路人形座 伝統芸能「人形浄瑠璃」公演
- 11:30 近代風水の館 春陽荘見学  
(国登録有形文化財・兵庫県景観形成重要建造物)
- 12:30 イタリア料理レストランL'ISOLETT(リゾレッタ)  
オリジナリティあふれる「淡路流イタリア料理」を堪能
- 14:40 日本最古の神社 伊弉諾(いざなぎ)神宮参拝
- 16:40 JR三ノ宮駅着
- 17:00 新神戸駅着



参加費(お一人様) 39,000円 (うめ丸1泊2食25,000円、交通費、昼食代、その他諸費用を含む)  
42,000円 (露天風呂付客室の場合)

\*お1人様でお申し込みの場合、1室1名の利用はできません。1室は2名様~5名様まで可能です。

## プランB (最少催行 人員25名)

## ぜんぼう せいねい 禅坊靖寧コース

淡路島の大自然、東経135度の地で、禅体験ができる「禅坊 靖寧」。見渡す限り360度に広がる淡路島の自然に囲まれながら、心と体を癒すリトリート体験を通して、自分と向き合う時間をお過ごしいただけます。

太陽の道(レイライン)線上に建てられている禅リトリート施設で禅体験と体にやさしい禅坊料理で心と体を整えるプランです。建築界最高栄誉といわれる「プリツカー賞」を受賞した坂茂氏設計による唯一無二の建造物も見どころです。100mあるウッドデッキで非日常を味わってください。



- 16日 17:00 神戸ポートピアホテル出発 淡路島へ  
宿泊/淡路島 うずしお温泉 うめ丸
- 17日 9:30 うめ丸出発
- 10:30 禅坊 靖寧(せいねい)到着
- 11:00~15:00 ZEN Wellness 4時間コース  
ZEN体験(ZEN茶・ZEN書)と「禅坊料理」を味わう
- 15:40 JR三ノ宮駅着
- 16:00 新神戸駅着



禅坊靖寧HP

参加費(お一人様) 54,000円 (うめ丸1泊2食25,000円、禅坊料金23,000円、交通費、その他諸費用を含む)  
57,000円 (露天風呂付客室の場合)

\*お1人様でお申し込みの場合、1室1名の利用はできません。1室は2名様~5名様まで可能です。

### 前夜祭・淡路島観光の申し込みについて

※4月10日~4月20日までに各自、又はグループでメールにてお申し込みください。

※お一人様参加の場合はこちらで部屋割りをさせていただきます。

※お申し込み先:観光委員会 佃 眞夕美 tsukuda8565@gmail.com

喜田 秀美 kida-solar1106@zeus.eonet.ne.jp

観光申込書にコース(前夜祭、プランA、プランB)を選択し、氏名・カウンスル・クラブ・携帯番号・メールアドレスを明記の上、上記2名の両アドレスに同時に送信してください。

観光申込書はJ-CLOより3月上旬に配信させていただきます。

※参加費の振り込みは締め切り後、ご連絡いたします。

※キャンセル・変更については、6月20日までにお願いいたします。それ以降の返金は出来ません。

※お問い合わせ先:観光委員長 佃 眞夕美 tsukuda8565@gmail.com

TEL:090-7497-6060

※いずれのコースも最少人数に満たない場合は他コースに変更して頂く場合があります。

※申し込みはお申込み順とし、募集人員に達した時点で締め切らせていただきます。

# ITC-J 第42期 年次大会 申込要領

## 【 ITC-J 第42期年次大会申込書について 】

- 下記の役職のみ記載する。  
ITC-J役員・ITC-J委員長・元ITC-J会長・元日本リージョン会長  
各レベル会長・クラブITC-J派遣員(代理)
- 重複会員はITC-J会費を納めているクラブで申し込み登録する。
- 欠席者は、欠席協力金を支払う。
- CMTのみ出席の会員は、登録費は不要、欠席協力金を支払う。
- 教育セッションは第1、第2希望を記入する。会場の状況により希望に沿えない場合もある。
- 昼食は、両日ともお弁当です。
- 晩餐会に出席の方で食物アレルギーのある方は、田中基子食事委員長に事前に連絡する。
- ゲスト登録費：3,000円(晩餐会のみ出席の場合、登録費不要)
- 登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金はクラブで纏め、大会会計へ送金する。

登録費	7月15日(月)・7月16日(火)	10,000円
昼食費	7月15日(月)・7月16日(火)	2,500円
晩餐会費	7月15日(月)	13,000円
欠席協力金		2,000円

## 【 ホテル宿泊申込書について 】

- 「ホテル宿泊申込書」に部屋タイプを部屋記号で記入する。  
シングル申し込みが多いと予測され、希望に沿えない場合もあります。※シングルルームは50室のみ  
(シングルルームは申し込み順に受け付けさせて頂き、数量に達した時点で締め切りとさせて頂きますのでご了承ください。できるだけTW・TR・SUでお願い致します。)

宿泊日	7月14日(日)			7月15日(月)			
部屋タイプ	シングル	ツイン	トリプル	シングル	ツイン	トリプル	シングルユース (ツインorダブル) ※お1人様使用
部屋記号	S	TW	TR	S	TW	TR	SU
料金(1名)	17,000円	15,000円	12,500円	15,000円	13,000円	10,500円	19,000円

- 変更・キャンセル \*1泊朝食付(税・サービス料込)  
6月10日(月)まで：クラブの登録担当者が宿泊委員長にメールで連絡する。  
6月11日(火)以降：申込者が各自、直接ホテルに電話で連絡する。
- 宿泊費は、各自支払う。
- チェックイン 15:00、チェックアウト 12:00
- キャンセルの場合：キャンセル料はクラブの登録担当者が徴収し、ホテルに支払って下さい。  
(前日:80%、当日:100%、不泊:100%)

## 【 登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金・宿泊の申込期日 】

第1回締切日 2024年3月31日(日) 最終締切日 2024年5月31日(金)

## 【 登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金の送金期日 】

2024年6月1日(土)～6月7日(金) ※6月1日(土)以降は取り消しのみ受け付ける。  
送金の際は、5月31日(金)の最終締め切り時点での申込金を振り込んでください。(返金不可)

登録委員長：赤松奈緒子(3芦屋) Eメール:rsj87364@ares.eonet.ne.jp Tel:072-628-1930  
 宿泊委員長：伊山 泉(3淡路) Eメール:i-iyama@leto.eonet.ne.jp Tel:090-3728-4710  
 食事委員長：田中 基子(3ポート神戸) Eメール:motokotan@iris.eonet.ne.jp Tel:0798-71-7258  
 大会会計：加茂巳都里(3淡路) Eメール:m-kamo@ao2.gmob.jp Tel:090-3486-5815  
 神戸ポートピアホテル：〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10-1 Tel 078-302-1111(代表)

## ITC-J ウェブサイト会員ログイン方法



- ① 下記のQRコードを読み込む      ② <http://www.itcjr.jp/> クリック!



ITC-J HP

会員専用ページ ログイン

**ユーザーID** 会員番号

**パスワード** 会員の姓のローマ字小文字  
(例 nihon)

\* ID番号がわからない場合はクラブ会計にお尋ねください。

### 表紙について

第1号に引き続き、高山会長のご主人高山秀則氏のステンドグラスのお写真を使わせて頂きました。こちらもインパクトのある素敵な表紙になったと思います。

「サンゴ礁の魚たち」と言うタイトルのこの作品は、2010年京都国際芸術祭において毎日新聞社賞を受賞されています。現在は兵庫県淡路市に寄贈されていて、淡路市立図書館の西口玄関に飾られています。

### 編集後記

第42期会報誌第2号をお届けいたします。

カウンスル第1回会合報告、Zoomで開催されたカウンスル会長会報告、そして高山会長による特集「ITCの歴史を紐解きます」をシリーズIIとして掲載させて頂きました。

また、今号で7月開催の年次大会についてのご案内をしております。各委員会によって入念に準備されたご案内を熟読して頂き、大会で皆様の輝く笑顔にお会い出来ますことを願っております。

今回もお忙しい中、原稿をお寄せ頂いた会員の皆様にスタッフ一同心より感謝申し上げます。

編集者：喜田 秀美      スタッフ：竹内 邦子      伊山 泉

## ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

## ITC-J Pledge

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

## ITC- J 声明文

ITC-Jの使命は、ITC-Jの目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

## Mission Statement of ITC-J

The mission of ITC- J is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of Interactive Training in Communication-Japan and benefit the society by providing mature individuals.